



化粧品容器を 形にするために

高圧化工株式会社 千葉工場
吉川 賢朗さん(37歳)

高圧化工株式会社では、プラスチック容器の設計から製造までを行っています。主に化粧水や乳液、ファンデーションなどの化粧品容器を扱っています。

——どんな仕事をしていますか

容器の設計図を作る仕事をしています。顧客から容器のデザイン画が届くので、パソコンで設計図を作成し、3Dプリンタで試作品を作ります。顧客からの承諾が得られたら自社の製造部に回し、製造を依頼します。

——入社したきっかけは

出身は山形県で、高等専門学校でものづくりを学んでいました。先生の紹介でこの会社を選び、20歳のときに就職し、旭市に来ました。

高圧化工株式会社
千葉工場

所在地／旭市鎌数10815
電話番号／62-2066

——仕事にやりがいを感じることは

作った製品がCMで流れたときや、百貨店に並べられているのを見かけたときは嬉しくなります。

——大変だと感じることは

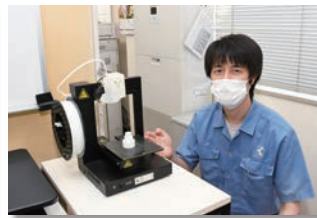
顧客からの要望にどこまで応えるか、悩ましいときがあります。顧客のデザイナーが細部までこだわったデザインを実現させようとすると、難しい技術が必要になりますが、工場としてはシンプルな作りの方が、生産しやすいので好まれます。この相反する要望を調整し、どのようにして顧客に満足してもらえる容器を製造するかが難しいところです。

——今後の抱負は

新しい技術をどんどん取り入れて、今まで以上に顧客が希望する容器を作れるよう、頑張っていきたいです。



設計図の作成



3Dプリンタで試作品を作成